

野外体験学習の計画の手引き

野外体験学習担当

様々な条件が関わっているため、学校で計画を立てることが難しい場合があると思います。野外体験学習に関する質問がありましたら担当職員が相談に応じますので、電話、FAX等でお問い合わせください。

【計画作成の流れ】



1 台上バス計画書の提出まで **実施日程及び台上バスの運行を決定してください。**

(1) 実施回数

生徒数が120人以下の学校は1回で実施、121人以上の学校は2回に分けて実施します。

(2) 学習する時間帯 ※平成30年度から野外体験学習の時間帯が下記ようになります。

- ・終日 センター発 9:20～**昼食**～16:00 センター着
- ・半日(午前) センター発 9:20～12:20 センター着 **昼食**
- ・半日(午後) **昼食** センター発 13:20～16:20 センター着

(3) 台上バス計画書の作成・提出

- ・運行時間 (2)で設定している、それぞれの学習時間内での運行になります。学習時間を超えた運行はできません。半日の学習では、少年自然センターでの昼食になります。
- ・運行台数 各校の実施日程や生徒数に応じて決まっています。ホームページに公開している「台上バス計画書」のExcelファイルでの入力や同封の「実施日程と台上バスの台数決定についてのフローチャート」を参考にして、各校が運行できる台数を確認してください。

2 事前打ち合わせまで **選択する学習コースの案を立ててください。**

(1) 1回あたりのグループ数・学習コース数

- ① 1グループあたりの人数は、安全面や学習効果を考えて、最大30人とする。
- ② 1回あたりに設定できるグループ数は、【1回あたりの生徒数÷30で小数点以下は切り上げ】とし、各グループの人数ができるだけ均等になるようにする。
- ③ 選択できる学習コース数は最大3コースとし、4グループ以上の場合、そのうち1及び2コースを2グループで構成する。(時間差や逆回り等で、各グループは別行動になる。)
- ④ 2回に分けて実施した上で、なおかつ1回あたりの生徒数が151人以上の場合は、1グループあたりの人数が30人を超えるが、5グループで設定する。
- ⑤ 引率教員だけで学習指導ができる場合、グループ数及び学習コース数を増やすこともできる。

↓↓ 参加生徒数による実施回数及びグループ数の一覧表です。 ↓↓

学級数		1	2	3	4	5	6	7	8~				
参加生徒数		～ 30	～ 60	～ 90	～ 120	～ 140	～ 150	～ 175	～ 180	～ 210	～ 245	～	
グループ数	1回実施	1	2	3	4								
	2回実施	1回目					3	3	4	3	4	5	5
		2回目					3	2	3	3	4	4	5

〈実施回数及びグループ数の前提条件〉

- ・35人学級で編成された学年としている。
- ・5学級の場合は、1回目を3学級、2回目を2学級、7学級の場合は、1回目を4学級、2回目を3学級としている。実際には、1回目と2回目の学級数は逆でも構わない。
- ※学級の編成人数、グループの編成人数等は、全て平均値で想定しているため、学年団の構成によっては上記の表に当てはまらないことがあります。

(例) 生徒数5学級 165人の場合

生徒数 5学級 165人	1回目 3学級 99人	A① 25人	A② 25人	B 25人	C 24人
	99÷30=3.3(4グループ)				
	2回目 2学級 66人	A 22人	B 22人	C 22人	
	66÷30=2.2(3グループ)				

(2) 学習コースの組み合わせ

野外体験学習 10 コース、館内学習 8 コースを設定しています。それぞれの学習コースの詳細は、「五色台のしおり（校長会版）」やホームページに公開している「野外体験学習コース」をご覧ください。

↓↓ 一日の日程と選択できる学習コース一覧表です。↓↓



午前		昼食・休憩	午後	
学習コース名	(主な学習内容)		学習コース名	(主な学習内容)
①	大崎 (地学)	➡	大崎	(地学)
②	小原海岸 (生物)		小原海岸	(生物)
③	大崎山園地周辺 (生物)		大崎山園地周辺	(生物)
④	ビジターセンター周辺 (生物)		ビジターセンター周辺	(生物)
⑤	野鳥の森 (生物)		野鳥の森	(生物)
⑥	自然センター周辺 (生物)		自然センター周辺	(生物)
⑦	根香寺 (人文)		根香寺	(人文)
⑧	赤子谷 (生物・地学)		赤子谷	(生物・地学)
⑨	遍路道(中山～東奥) (生物・人文)		国分寺(東奥～資料館) (地学・人文)	
⑩	遍路道(中山～西寺) (生物・人文)		白峯寺 (人文)	
	白峯寺 (人文)	遍路道(西寺～中山) (生物・人文)		
館内学習 (生・地・人)			館内学習 (生・地・人)	

〈学習コース選択の留意点〉

●終日の学習を計画する場合

- ・午前と午後の学習内容が重ならないように組み合わせてください。
- ・⑨⑩は、終日、同一の学習コースです。
- ・⑧を午後に選択した場合、「サヌカイトの石鈴」は完成させることができません。

●半日の学習を計画する場合

学習地までの往復のバス移動が含まれるので、学習コース及び学習内容が制限されることがあります。

- ・①は、「地質ミニ標本」を製作できません。
- ・⑧は、「サヌカイトの石鈴」を製作できません。
- ・⑨⑩は、遍路道か寺院かどちらかの学習になります。

◎退所日に実施する場合

学習時間を 16:00 まで確保できない日程で実施するときは、学習コース及び学習内容が制限されることがあります。

館内学習

館内学習は、全て半日単位で学習コースを設定しています。野外体験学習と組み合わせで選択することもできます。雨天時等に振り替える場合の学習コースも選択してください。

学習コース名	(主な学習内容)
葉脈標本づくり	(生物)
草木染め	(生物)
海藻標本づくり	(生物)
岩石ミニ標本づくり	(地学)
化石模型づくり	(地学)
サヌカイトの石器づくり	(人文)
草木染め	(人文)
紙すき	(人文)

3 事前打ち合わせ **学校が立てた案をもとに、担当職員と打ち合わせを行ってください。**

- ・五色台集団宿泊学習全体の事前打ち合わせの際に、野外体験学習の打ち合わせを行います。
- ・事前打ち合わせで決定に至らなかった内容については、後日、電話や F A X 等で連絡を取り合いながら、まとめていきます。
- ・選択する学習コースが決定した時点で、F A X 等でお知らせください。台上バスの運行等も含めて、選択した学習コースで実施可能か確認します。

4 入所日 2 週間前 **学校のしおりを作成し、自然センターに送付してください。**

- ・学校のしおりに野外体験学習のページを設けて、グループ名(数字、アルファベット等)、学習コース名、各グループの生徒数、引率教員名、館内学習に変更時の学習コース名は必ず記載してください。
- ・送付していただいた学校のしおりをもとに、担当職員が日程表と台上バス運行表を作成し、F A X でお知らせします。ご確認ください。